

コード	403040201
記入日	H23.5.30

課コード	108
課名	まちづくり推進課
課長名	田本 耕一
担当者	坂下 幸喜

事務事業途中評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	奈良尾温泉センター管理運営費
----------	----------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 一 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	7
施策コード	403	施策名称	商工業の振興	項コード	1
基本事業コード	40304	基本事業名称	観光商業の振興	目コード	4
事務事業コード	4030402	事務事業名称	奈良尾温泉センター管理費	細目コード	146
関連計画	法令・条例規則等		新上五島町奈良尾温泉センター条例及び施行規則		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象しているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 住民		(対象指標1)	23,210人 (H22.4.1現在)			
(対象2) 奈良尾温泉センター		(対象指標2)	1箇所			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・住民の健康増進や観光客の増加のために、管理運営を行った。 →保守点検回数 33回 →修繕件数 11件	①	*****	*****	*****	*****
		営業収入額	1,643千円	13.3%	営業収入額1,643千円 →維持管理経費12,387千円	平成22年度
		(達成率分析)	営業収入1,643千円に対し、運営経費が12,387千円かかっており、結果10,744千円の一般財源負担となっている。			
		②	*****	*****	*****	*****
		保守点検回数	33回	100%	保守点検回数33+計画した保守点検回数33	平成22年度
		(達成率分析)	利用者に不都合がないよう、また危険物を扱うため管理運営上、保守点検は確実にやっている。			
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・町民及び観光客に温泉を利用した保養と健康増進の場を提供し、町民の福祉の向上及び観光の振興に寄与することを目的としている。		①	*****	*****	*****	*****
	利用者数	9,832人	54.6%	利用者数9,832人+計画した利用者数18,000人	平成22年度	
		(達成率分析)	利用者目標を18,000人計画していたが、事故等により作業日数が多かったため、利用者が減少した。			
		②	*****	*****	*****	*****
		営業した日数	323日	88.5%	営業した日数323日+営業すべき日数365日	平成22年度
		(達成率分析)	施設修繕のため、42日休館した。			

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		21年度以前	22年度		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	①	千円	12,202	12,202	10,559	1,643	1,643				
	②	回	150	150	117	33	33				
成果指標	①	人	71,091	71,091	61,259	9,832	9,832				
	②	日	1,345	1,345	1,022	323	323				
総事業費 C (A+B)	千円	85,783	85,783	72,696	13,087	13,087					
直接事業費 A	千円	81,583	81,583	69,196	12,387	12,387					
人件費 B	千円	4,200	4,200	3,500	700	700					
内訳	従事職員数	人	0.6	0.6	0.5	0.1	0.1				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	85,783	85,783	72,696	13,087	13,087					

評価

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	住民の福祉向上や観光資源の活用として必要である。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	現在宿泊部門は廃止し、観光客の利用も少なくなったが、古くから奈良尾地区住民の憩いの場として定着しており、愛着がとて深い施設である。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	住民の福祉の向上が目的であり適切である。
有効性	・現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	あくまでもこの施設は住民の福祉施設であり、採算性を重要視するものではない。
	・成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	別の場所の温泉の利用方法が示されれば、より良い事業展開が図られるものと思われる。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	福祉の後退、地域サービスの低下につながる。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	類似事業はない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	サービスの質を落とすことは、更なる客離れを招くものと思われる。
	・人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	最小の人員で行っており削減できない。
	・受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	条例に沿っており、適正である。

改善

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ計画を見直す必要はない。
		有効性	高齢化が進んでおり、新しい温泉の有効利用を考える時期に来ている。
		効率性	現在のところ計画を見直す必要は無い。
		課題に向けた改善策	施設の老朽化が著しいため、施設の改修等を計画的に行い利用者の利便性を確保していく。
	2次評価	妥当性	新温泉の利活用とあわせ、センター施設の今後の運用のあり方を検討すること。
		有効性	老朽化も進行しているが、適正な施設の維持・管理に努め、補修等は計画的に行うこと。
		効率性	適正な維持管理に努め、一般財源の削減に努めること。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続
		●		事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。